

みどいの大地

普及センターの活動について

普及センターでは、管内の農業現場で発生している課題を抽出し、改善策を提案し、解決に向けて農業者や関係機関・団体と連携して取り組んでいます。

今号では、令和4年度に実施している普及活動の中から、管内各地域で取り上げた課題の取組状況や、調査研究の内容、担い手活動の様子について その一部をご紹介します。

普及センター活動紹介

【課題に取り組む】

「その先へ…」酪農場の未来をつなげていこうとしています。

本所地域第一係
根室市和田地区での取組

課題の背景

繁殖管理では分娩間隔が長く、改善も足踏み状態となっていました。労働環境では担い手減少と管理面積の増加から農繁期の過重労働が将来的な懸念事項となっています。

活動内容

繁殖管理では継続的な乳牛管理スコアリング作業を行い飼養管理技術の向上について支援しました。ある場面では人工授精師さんの業務に立ち会って分娩後子宮の回復状況や卵巣の状態について教えてもらい、得られる管理情報の幅を広げています(写真1)。次の展開では、家族・作業者間での情報共有と作業連携をテーマにしています。

労働環境では、近い将来、労働力不足となる現状を踏まえ、農場の「将来計画」の再考と次代への引継も考え「家族みんなで将来計画樹立！」に取り組んでいます(図1)。



写真1 人工授精師さんとの現場連携

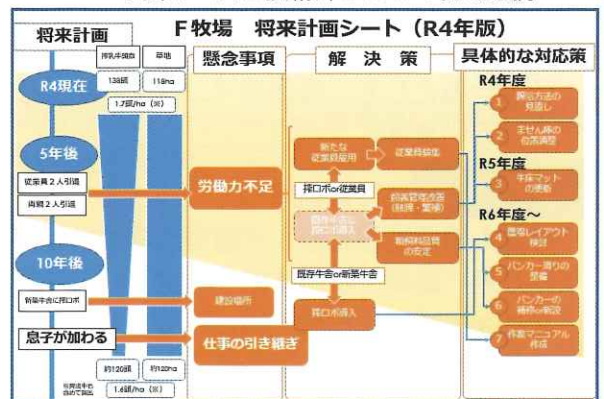


図1 完成したF牧場の中・長期将来計画シート

根室農業改良普及センター

ホームページ: <https://www.nemuro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/>

[本所] 〒086-0214 別海町別海緑町3 8番地5

Tel(0153)75-2301 Fax75-0090 メール: nannemuro-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp

[北根室支所] 〒086-1045 中標津町東5条北3丁目

Tel(0153)72-2163 Fax73-4123 メール: kitanemuro-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp

「根室農業改良普及センター」で検索!
又は、QRコードから直接サイトへ



【課題に取り組む】

構成員全員参加でTMRセンター運営！！

本所地域第二係
別海町上春別地域の取組

課題の背景

TMRセンターにおける組織運営マネジメントの充実が全道的に課題となっています。

活動内容

普及センターでは、円滑な組織運営の仕組みづくりを支援しています。上春別TMRセンターでは構成員が「飼料部」「ほ場部」のどちらかに所属し構成員間で情報共有を行い、全ての構成員が組織の意思決定に携わっています。



写真2 植生調査の様子

- 1 構成員による意思決定の仕組み
 - (1)必要に応じて飼料設計会議を開き、飼料設計の変更を行っています。
 - (2)植生調査(写真2)を実施し、草地更新するほ場を決めています。
 - (3)収量調査結果を参考に、サイレージ用とうもろこしと牧草の品種を決めています(写真3)。



写真3 ほ場利用計画の検討

- 2 構成員による情報共有の仕組み
 - (1)全体会議で、組織全体に関わる事や「飼料部」「ほ場部」の提案事項を情報共有しています。
 - (2)情報共有誌を発行して、構成員個々の取組を情報共有しています。
 - (3)ほ場台帳や会議報告書を構成員がいつでも見られるようにしています。

従業員が定着しやすい農場の仕組み作り

北根室支所地域係
中標津町の取組

課題の背景

北根室地区では、雇用ニーズの増加に伴い、働きやすい労働環境の整備を推進しています。

その一環として、農作業マニュアルづくりと運用の支援を行っています。

活動内容

農場の用途に合わせ、「紙で掲示するタイプ(写真4)」と「動画で説明するタイプ(写真5)」の2タイプのマニュアルづくりを一緒に行っています(表1)。

動画タイプのマニュアルは、今後農場のYouTubeに掲載し、作業員がいつでも見られるようにします。

同様のマニュアル作成について興味のある方は、気軽にご連絡ください。

表1 マニュアルタイプによる使用用途例

マニュアルのタイプ	使用用途の例
紙	主に作業順序の確認に使用する。細かい注意点の記載は任意。
動画	主に作業の注意点を作業しながら解説し、より生産性の高い作業を教える。

作業の手順

作業場所の見取り図

作業の写真

写真4 紙タイプのマニュアル



写真5 動画タイプのマニュアル

高付加価値化の取り組み

本所広域係
根室管内の取組

普及センターでは、6次産業化に関心がある方々への対応を行っています。「このようなことをしてみたい」という段階からご相談ください。以下に、主な取組事例を2つご紹介します。

また、令和4年8月に『北海道の酪農家が取り組む高付加価値化の事例より～成功へ向けて取り組むポイント～』として、チャレンジアップセミナー（写真6）を開催しました。今後もこのような情報提供などを行う予定です。



写真6 チャレンジアップセミナー

みるふちゃん工房（中標津町計根別）

2014年に吉本興業とJA計根別の有志で地域発信型映画『トップ』を共同製作。映画に登場した「牛乳豆腐の妖精みるふちゃん」から、牛乳豆腐専門工房を立ち上げ、「食べる牛乳 みるふちゃん」として商品化。より美味しく食べられる新商品の開発を進めています。



コウシ茶寮（別海町）

別海町中心部に2021年に誕生したカフェ。地元乳製品を使ったスイーツ「バタどら」、「おてつめカフェオレあん最中」や軽食をこだわりのお茶と楽しめます。新たな商品づくりを目指す取り組みを、普及センターも支援しています。



【調査研究活動から】

根室管内における黒毛初生子牛の飼養管理の実態について

根室管内では、乳牛への受精卵移植による黒毛初生子牛の市場出荷頭数が年々増加傾向にあります。

そのため、安定販売に向けた飼養管理技術の定着を図る必要があります。

今年度は、長年にわたり和牛の飼養管理を行う数戸の農場に出向き、ミルクの給与量や子牛の観察ポイント等、初生子牛の育て方を現地調査しました。

今後は、調査結果を踏まえて、初生子牛管理のポイント等をまとめた資料を作成し、健康な子牛づくりのための啓蒙活動を進めていきます。



写真7 子牛の管理方法を詳しく教えて頂きました



写真8 資料作成に向けた協議を実施

アルファルファ・チモシー混播草地の播種量実態と管理方法の検討

今年度、アルファルファ（以下AL）・チモシー（以下TY）の混播草地において、適切な播種量と管理方法を明らかにするため、冠部被度や栽培内容を調べました。

上記調査をもとに、北海道農業研究センターの新品種比較試験、雪印種苗株式会社研究農場での栽培試験内容について情報交換を行い、改善への足掛かりとしました。

以上から活動成果となる、AL・TY混播時の播種量は圃場条件毎の選択式とし、利用方法等は各JAを通し技術伝達していきます（詳細はお問い合わせ下さい）。



写真9 冠部被度調査風景



写真10 試験圃場の見聞

今年の担い手活動

～ポスト・コロナに向けて～

令和4年度は少しずつですが、現地集合による各種研修会・セミナーなどが復活し始めました。その中から主だった活動をご紹介します。

指導農業士会現地研修会

7月26日、標津町古多糠の指導農業士 須田良紀牧場で、根室管内指導農業士会現地研修会が開催されました。

須田牧場では、自動操舵システムを取り入れた牧草収穫作業の説明を受け、試乗体験を行いました。

自動操舵システムは、設定した走行ルートを複数の作業機で共有でき、作業の効率化と負担軽減につながります。

参加者も多く、活気ある研修会となりました。



写真11 指導農業士、研修生など51名の参加がありました

気候情報利活用セミナー

11月28日、別海町生涯学習センター「みなくる」において、別海町との共催で「気候情報利活用セミナー」を開催しました。

札幌管区気象台および釧路地方気象台より「根室地方の気候特性と防災気象情報」や「地球温暖化の現状と農業に役立つ気候情報の紹介」などについてご講演をいただきました。

セミナーでは、「ピンポイントの予報は可能か?」「(牧草収穫時に)向こう4日間1滴も雨が降らない確率は?」など、極めて現場的かつ活発な質疑も行われました。



写真12 根室地方の気象特性についての講演

青年農業者会議

12月6日、酪農試験場を会場に根室管内青年農業者会議が開催されました。発表と表彰は以下の通りです。

アグリメッセージ

〈最優秀賞〉 標津町4Hクラブ 河島竜平さん 「言葉の力」

〈優秀賞〉 別海町4Hクラブ連絡協議会 増岡耕平さん

「ストイック～ロールに登れないし、遊びに行くからやせてみた～」

プロジェクト発表〔畜産経営部門〕

〈最優秀賞〉 別海高等学校農業特別専攻科 佐藤めぐみさん

「繁殖成績の向上を目指して～PAGs (パグ) 検査を活用した繁殖管理の提案～」

〈優秀賞〉 根室市4Hクラブ 久末彰真さん 「いい牛作ろう!ゲノムで改良～この遺伝子をお前に授ける～」

〈優秀賞〉 別海町4Hクラブ連絡協議会 青野大地さん 「別海4Hの軌跡」



写真13 別海町4Hクラブのプロジェクト発表